

“ふじのくに”^{しみん}士民協働 事業レビュー結果

(教育委員会)

事業	2	事業名	次代を担う人材育成研修事業費（サイエンススクール）
----	---	-----	---------------------------

1 基本情報

実施日／班名	9月6日 第1班	時間	14:10~15:15
担当課名	高校教育課	事業費	3,200 千円

2 レビューの結果 施策目的に対する効果の程度

結果	一定の効果がある	判定区分	県民評価者の内訳	
			大きな効果がある	3
			一定の効果がある	18
			あまり効果がない	9

3 県民評価者の意見（レビューシートから転記、下線があるのは口頭で発表された意見）

(1)見直し・改善策

目的・指標	<ul style="list-style-type: none"> ・専門委員から指摘があったように、SSH以外の理数科がある学校への予算加配としか思えない。効果の検証は難しいと思うが、小柱の目標達成への結びつきが見えない。
対象・範囲	<ul style="list-style-type: none"> ・事業費が限りある中、サイエンススクールにかかる事業費が必要です。SSH指定校だけではなく、もっと広い範囲で育成することが大切です。 ・理数科のある高校だけでなく、普通科の理系の中にも次代を担う育成すべき人材がたくさんいるのではないかと。 ・日本のものづくりの基礎づくり、隣国に負けない強い日本作りの原点ですので、普通校にも企画を出させて予算をつけてあげたらよいのでは。 ・西部地区に2校（西遠においては1校）なのは残念、増やすことはできないのですか。 ・専門分野を伸ばすとすればいいのかもしれないが、一部であり、均一化を考えているのならばどうだろう。理数科だけ考えたら一部ではないのだろうか。 ・理数に行きたくても行けなかった普通科の子はどうするのか。ならば均一化は必要なく、もっと濃くしぼって育成したらいいのではないかと。 ・理科離れといわれていますが、子どもたちは興味はあるのです。それをつぶすような教育をしていないでしょうか。興味のある生徒だけを伸ばすのではなく全体を伸ばしてほしい。 ・理科離れを考えるなら、小・中学校の理科の授業を（教員を）確保する必要がある。小・中学校での実験補助にあててもらいたい。 ・理数科のみというのが気になります。 ・理数科すべてにチャンスを与えてみる。 ・自分の出身高校では大学進学、専門学校進学、就職というようにクラスが分けられていた。実際、先生たちは大学進学生徒につきっきりで、専門進学の生徒は片手間、就職の生徒たちに関してはほとんど放置というような感じで、大学進学以外の進路をとった生徒達はとても不満を持っていた。同じ校内でそのような格差があったことが本当に腹立たしかった。それを踏まえてこの事業内容を聞くと、とても不安と偏りを感じた。予算のことはよく分からないが、何かひとつに力を入れるより、満遍なく行き渡るような事業が最優先ではないか。教師の分担も必要に応じて考え直すべき。

事業内容

- ・有名な博士が静岡県出身であることを喜ぶより、例えば医師不足の問題等を思うと、どれだけ静岡県に貢献できる人材を育成するかに予算をつけるほうがよい。
- ・事業費のことについて、専門委員が指摘されたように企業などと連携して工夫することが必要です。
- ・均等 40 万ではなく、良い事業計画に対して予算をつける。
- ・産学一体化をすれば予算がつくのではないか（静岡県だからできる。企業が少ない県ではできない）。
- ・見学、講義も貴重な体験ですが、実習や実験もできるようになるとより良くなる。
- ・教育はどの分野も平等です。教育の原点を見直して下さい。一部に偏った教育はだめです。
- ・エリート意識が強く感じられ、人格が後まわしになっている。
- ・一見効果があるようだが、理数科の学校をのぼすことが目的ではなく、理数系教育の充実だと考えます。理数科に進学した生徒さんは、議論でも出た問題発見、解決力をもともと少しでも持っている人ではないのでしょうか。そうでない人の能力を伸ばさないと理数系教育の充実にはなりません。
- ・セミナーの選び方を連絡協等で話しているそうですが、「次世代を担う人材」を育てる目的ならば、将来必要となる科学、技術の洗い出しをしてからセミナーを選ぶべき。
- ・8校は横のつながりで良かったこと、意味のなかったことの連絡を取り、次年度に少ない予算を有効に使えるよう話し合っただけ（例：ここに行ったらよかった、この講義はよかった）。共有したらさらに成果が出ますね（されていると思いますが）。
- ・基準をクリアできない学校には予算を出さず、努力させる機会を与える等して、グレードアップするのを希望する。
- ・理数系の高校の一部（SSH）だけに予算や取組をするのではなく、また理数を目指す生徒全員に何かしらの取組をするということも難しいと思うので、その時々に応じてどこにどのような取組をしなければいけないのかを議論してから実行すれば、少しは改善できるのではないかな。
- ・金額を投資すれば学力や意欲等が上がる。SSHの中でもランクをつけるなどして、本当に科学者になりたい学校を作ったらどうか。
- ・ノーベル賞をとるような人を作りたいのか、学力の全体的な向上を目指すのか不明。自分としては野球で言えば甲子園で優勝できるような学校を作りたい。
- ・SSHの中から他8校へ、良かったことなどを伝えられるような組織作り。
- ・この事業の科学教室やセミナー等は、今現場で働いている社会人も参加できるようにしてもよいのではないかな。
- ・学校の意欲を高めるためにはプレゼン制にしたほうが良い。
- ・学校からの申請式にしたほうが良いのではないかな。
- ・目標値を掲げていただきたい。
- ・事業の目標が大学進学や研究者の育成であるなら、理数科に限らず、普通科でも理系を目指す学生や進学校に対しても支援を行うべきである。
- ・理数科だけでなく、普通科やその他のクラスにも力を貸すべきである。
- ・ただお金を渡すだけでなく、その予算を使って何かを成し遂げて、その成果を発表するなどさせれば、よりSSH指定校以外の高校が伸びるのではないかな（セミナーだけではなく）。
- ・予算ありきの活動ではないのか。予算が与えられてからカリキュラムが考えられることは自発的であるとはいえない。
- ・普通科にも理数系のコースがあると思われるので、理数科にとらわれるべきではない。
- ・例えばエンジニアでは、数学と物理が大切である。そうした下地を作るのが教育の役割で、ベースの学力を作るのが先決である。

(2)その他の意見

- ・優秀な人材を育成するのは重要な事である。
- ・スーパーサイエンスハイスクール（SSH）の落選対策に感じます。
- ・理数科のみの差別も感じます。
- ・予算規模の割りに効果がある。
- ・教科書を超えた思考を体験できるということは、生徒のみならず教師にとっても大切な経験になるのではないか。
- ・サイエンススクール事業はよいと思います。ただ、選ばれた8校のセミナー内容に格差が見られるような感じがします。
- ・理数系教育については、一定の効果はある。
- ・大学進学には効果があるが、進学のみですか。
- ・ただセミナーや教室に参加するだけのイベントにならないようにしてほしい。
- ・SSHは賛成。
- ・理数系にとってもお金をかけていることが分かりました。まるで卵をあたためて、何かが生まれることを楽しみにしているようです。私も高校1年生の子どもがいます。そして勉強している姿はあまり見られませんが、親は子供に食べ物を与えたり、おこづかいを与えます。義務のようなものです。人が出会い別れがありますが、それとはまた違う、何か才能が芽生える楽しみはあってもいいのかなと思います。才能が芽生えた喜びを、みんなで分かち合えたらお金をかけたかいいがあったとなる。とても時間がかかることですね。
- ・理数科がある学校のみを選んで現在の方法にとっても同意している。
- ・理数科は普通科よりも理数に力を入れているし、普通科にも支援をとれば、きりが無い。
- ・SSHがもっと広まって、県民が認識するようになれば、入りたい学生は理数科がある高校に入るのではないか。絶対に大きな効果がある。
- ・目的としている「日本の次代を担う人材育成」が、なぜ理数科なのかよく分からない。
- ・理数科がある高校に限定しないほうがいいのではないか。
- ・SSH指定校が実施している内容の中で、SSH以外の学校でも実施できる内容は情報交換していくとよい。
- ・SSHの指定を受けたければそこに入るので、問題ないと思う。
- ・SSHに大きな（十分な）予算があるなら、そこに協力をお願いすればよいのではないか。県がいきなり理数科にお金を配布するだけという理由がよく分からない。
- ・SSHの指定校も全学科から募集をかけるべき。中学生という年齢で自身の将来・進学を選ぶのは難しいと考える。将来の夢が決まらず普通科高校に進学した友人でも、理系大学に進んだ者もいた。
- ・今回の件だけでなく、子どもたちに良いモノを与え、将来のためにという考えは良いのかもしれないが、良い講師、良い機材などすべて大人が準備してあげている気がした。
- ・予算を一部の学校に充てることに対しては反対。
- ・すぐに結果が出るわけではないので、これからに期待したい。
- ・事業としてはすばらしいものだと思う。
- ・SSHの900万～1,300万円という金額と、サイエンススクールの40万という金額はあまりにも差がありすぎて、同じようにやっていくのは不可能ではないか。